

P POLICE 情報

令和 7 年
8 月号

- ◆ 自治体広報紙等活用版
- ◆ 高速道路の交通事故防止
- ◆ 防災意識の高揚

… P. 1
… P. 2
… P. 5

高速道路上で車が停止したときは・・・

「緊急時の3原則」
を実践しよう！



- ◎ 路上に立たない
- ◎ 車内に残らない
- ◎ 安全な場所に避難する

こんにちは県警です

サンテレビ

毎月第1土曜日
午前8時30分～(15分間)
8月の放送は8月2日(土)



パトロールニュース

ラジオ関西

55.8 KHzで放送中！
毎週月曜日
午後0時08分ころ～(約2分間)

ラジオ関西
毎週月曜日
(月曜日が祝日のときは休み)
午後0時08分ころから

ひょうご防犯ネット+(プラス)

アプリになってリニューアル！

従来の「ひょうご防犯ネット」でのお知らせはもちろん、防犯ブザー・性犯罪対策機能など安全・安心をアプリで！



兵庫県警察ホームページ

兵庫県警察を紹介

県警からのお知らせなど
役立つ情報を配信中
【兵庫県警察】で検索！



兵庫県警察公式アカウント

防犯・交通・イベント・採用案内など
県警からのお役立ち情報を配信中！

右側の二次元コードをチェック→
ぜひ登録してください！


兵庫県警察
Facebook


兵庫県警察
X(旧Twitter)


兵庫県警察
Youtube


兵庫県警察
Instagram

兵庫県警察本部県民広報課



自治体広報紙等活用版



【高速道路の交通事故防止】

高速道路等において、事故や故障でやむを得ず停止した車に後続車が衝突する重大な交通事故が発生しています。

事前に車両点検を行い、高速道路等の車道上で停止することのないようにしてください。

万が一、事故や故障で停止してしまった場合には、「緊急時の3原則」

○ 路上に立たない ○ 車内に残らない ○ 安全な場所に避難する
を実践し、発炎筒などで後続車に「車が停止していること」を知らせましょう。

【防災意識の高揚】

市・町では、5段階の警戒レベル

警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保！

警戒レベル4 危険な場所から全員避難

警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難

警戒レベル2 自らの避難行動を確認

警戒レベル1 災害への心構えを高める

により防災情報を提供し、住民がとるべき避難行動を明確化しています。

気象庁が発表する気象情報や、市・町長が発令する避難情報等を入手し、早めの避難を心掛けましょう。

高速道路の交通事故防止 ～安全安心を目指す兵庫ハイウェイ～

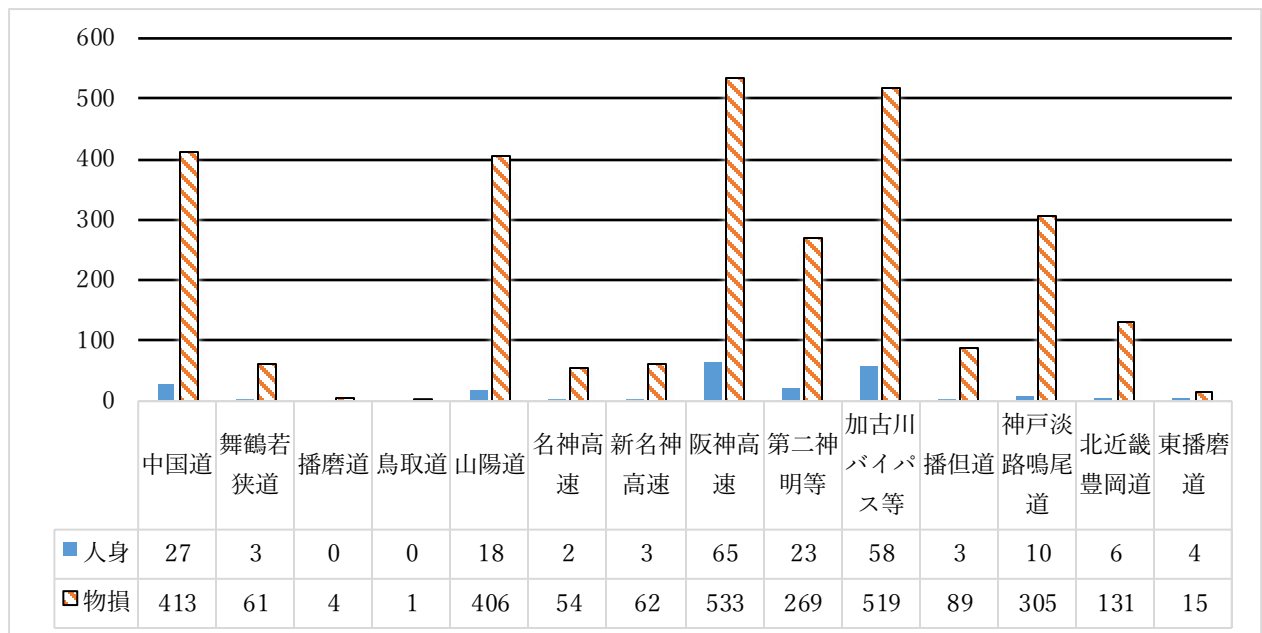
はじめに

県下の高速道路及び自動車専用道路（以下「高速道路等」という。）では、令和7年5月末現在、交通死亡事故は3件(死者数3名)発生し、人身事故件数が222件、物件事故件数が2862件発生しており、昨年と同じ時期と比較すると、交通死亡事故件数は横ばい、人身事故・物件事故の件数はともに減少しています。

例年、夏場は、帰省や海・山などのレジャーに高速道路等を利用される方が多く見込まれることから、交通量の増加に伴う交通事故の多発が懸念されます。

次の表は、令和7年5月末現在までの路線別交通事故発生件数です。

《路線別交通事故発生件数（確定数）》



注1 阪神高速には、神戸線、湾岸線、池田線、北神戸線、神戸山手線、湾岸垂水線を含みます。

2 第二神明等には、第二神明北線を含みます。

3 加古川バイパス等には、姫路バイパス、太子竜野バイパス、姫路西バイパス、姫路北バイパスを含みます。

高速道路等における交通死亡事故の概要と交通事故防止への取り組み活動

本年発生した交通事故死亡事故の概要

5月末までに発生した交通死亡事故は、

- 停止車両を認め停止した大型貨物自動車に中型貨物自動車が追突し、中型貨物自動車の運転手が死亡
- 準中型貨物自動車がハンドル操作を誤り縁石等に衝突、横転して同乗者が車外放出され死亡
- 路肩停止中の普通乗用自動車に大型貨物自動車が追突し、普通乗用自動車の運転手が死亡

した計3件となります。

高速隊が取り組んでいる交通事故防止対策

「安全で安心して走行できる高速道路」の実現に向け、

- 速度超過違反やあおり運転（車間距離不保持等）をはじめとする重大事故に直結する交通違反及びシートベルト装着義務違反の取締り強化
- あおり運転を誘発する通行帯違反の取締りの強化

の他に、

- 道路管理者との連携による安全施設の整備や広報啓発活動の強化などの対策に力を入れています。

高速道路等における駐停車の危険性

本県をはじめ全国各地の高速道路等において、事故や故障でやむを得ず停止した車に後続車が衝突する重大な交通事故が発生しています。

このような事故を未然に防止するためには、まず、出発前の車両点検（タイヤ、ガソリン、ブレーキ、冷却水などの点検）を必ず行い、高速道路等の車道上で停止することのないようにしてください。

万一、高速道路等の車道上で停止してしまった場合は、

- 路上に立たない
- 車内に残らない
- 安全な場所に避難する

の高速道路における「緊急時の3原則」を実践していただくとともに、後続車に十分注意して発炎筒、三角表示板等を車の後方に設置して後続車に知らせて下さい。

安全で安心して走行するために

夏場を迎えるにあたり、高速道路等においても交通量が増加しますので、交通事故の当事者にならないために、

- 暑さによる漫然運転防止のため、水分補給や休憩を充分にとる
- ゲリラ豪雨等急な天候変化に対応できる安全速度と車間距離で走行する
- 「あおり運転」に遭わないためにも、追い越しが終われば左側車線に戻る等を遵守し、計画的で余裕を持った運転に努めていただきますようお願いします。

《高速道路交通警察隊》

防災意識の高揚 ～風水害に備えて～

これからの時季は、台風や局地的な大雨の影響により、河川の急な増水・氾濫、土砂崩れなどが発生するおそれがあります。

普段から「逃げるタイミング」「逃げる場所」を考えておくとともに、気象庁が発表する気象情報や、市・町長が発令する避難情報等を入手し、早めの避難を心掛けましょう。

避難情報等について

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府（防災担当））では、「住民は「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとる。」との方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなっています。

自治体から警戒レベル4 避難指示や警戒レベル3 高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

参考【気象庁資料】

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町の対応	警 報 等	警戒レベルに相当する 気象庁等の情報	指定河川 洪水予報
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報	※ 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
<b>4</b>	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	高潮（特別）警報	氾濫危険情報
<b>3</b>	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える 可能性が高い注意報	氾濫警戒情報
<b>2</b>	自らの避難行動を確認	第2次防災体制	大雨警報に切り替える 可能性が高い注意報	高潮注意報	氾濫注意報
		第1次防災体制	大雨注意報 洪水注意報		
<b>1</b>	災害への心構えを高める		早期注意情報		

※ 高潮により相当な損害を生ずる海岸を「水位周知海岸」として知事が指定するとともに、高潮特別警戒水位を設定し、その水位に達した時に発表されます。

台風に伴う高潮の潮位上昇は短時間に急激に起こるため、潮位が上昇してから行動しては安全に立ち退きできないおそれがあります。

【水位周知海岸】・・・大阪湾沿岸、播磨沿岸、但馬沿岸、淡路沿岸（東浦、灘、西浦）

## 避難情報のポイント

### 市町から出される避難情報（警戒レベル）

危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉  
警戒レベル4で〈全員避難〉[※]です。

※ 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。

- ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
- ・ただし、警戒レベル5は、市町が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル4は避難指示に一本化されました。

- ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。

- ・「高齢者等」は障害のある人も含んでいます。
- ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたりするなど、自主的に避難するタイミングとなります。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

市・町長が発令する避難情報等は、皆さんの命を守るための大切な情報です。

**「自らの命は自らが守る」**意識を持って自らの判断で避難行動をとりましょう。

### 災害への備え

大規模災害が発生した場合、避難所に十分な食料がない可能性があります。

一人1つ、両手が使えるリュックサックなどを準備し、家族構成に合わせて必要なものを考えましょう。

#### 非常時に持ち出す物（参考）

- |                                               |                                     |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水（ペットボトルなど）          | <input type="checkbox"/> 着替え・タオル・毛布 |
| <input type="checkbox"/> 非常食（アルファ化米・レトルト食品など） | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ       |
| <input type="checkbox"/> 救急セット・常備薬            | <input type="checkbox"/> マスク        |
| <input type="checkbox"/> ラジオ                  | <input type="checkbox"/> 消毒液・除菌シート  |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ヘッドランプ          | <input type="checkbox"/> 筆記用具       |
| <input type="checkbox"/> 乾電池・モバイルバッテリー        | <input type="checkbox"/> 預金通帳       |
| <input type="checkbox"/> 現金（小銭も用意しましょう）       | <input type="checkbox"/> 手袋         |
| <input type="checkbox"/> 服・下着など               |                                     |

※ 定期的に中身を確認しましょう。

## 「防災気象情報」の活用

気象庁では、地図上のどこで危険度が高まっているかが、リアルタイムで色分けされる「キキクル（危険度分布）」を提供しています。

パソコンやスマートフォンから、気象庁のホームページの「キキクル（危険度分布）」で確認できます。

キキクルで「黒」が出現した場合、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況を表しています。

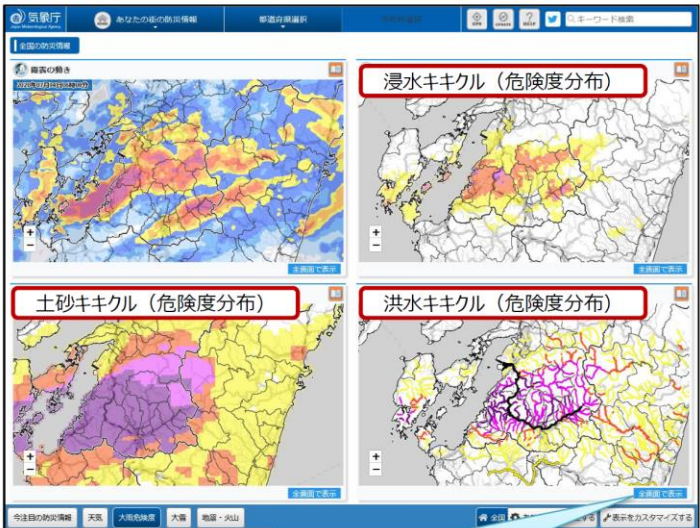
早めの避難を心掛け、遅くとも「紫」が出現した時点で、速やかに避難開始判断することが重要です。

自治体から高齢者等避難や避難指示が発令された場合には、キキクルの危険度に関わらず、速やかに避難行動をとってください。（参考：政府広報オンライン）

気象庁ホームページ  
(トップページ)



危険度分布  
(キキクル)



参考【気象庁ホームページ】

詳細版はこちらをクリック

## マイ避難カード

マイ避難カードとは災害が迫ってくる時に、「いつ」「どこで」「どのように」避難するかをあらかじめ自分で確認、点検し、書き記しておき、自宅内の普段から目につく場所に置いておくなど、いざという時の避難行動に役立てるためのカードです。

兵庫県では、災害の種類に合わせて避難方法をあらかじめ決めておく「マイ避難カード」の作成を推進しています。

様式は兵庫県のホームページに掲載されているので、家族で事前に避難行動を確認しておきましょう。

マイ避難カード（記載例）			
災害の種類	土砂災害	名前	兵庫 太郎
確認！	判断材料の入手 気象庁ホームページの土砂災害危険度分布 ○○沢の様子		
いつ？	逃げ時 土砂災害の危険度分布で赤色（警戒）になったとき または、○○沢の水が異常に濁ったとき		
どこに？	避難先 昼（明るい時） AB小学校 夜（暗い時） CD公民館		
どのように？	避難する方法 昼（明るい時） 家族と歩いて 夜（暗い時） 家族と歩いて		
（その他） 自宅がハザードマップの土砂災害警戒区域内にある			

【出典元：兵庫県】

## 顕著な大雨に関する気象情報

気象庁では、令和3年6月から線状降水帯が発生し、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっていることをいち早く知らせる「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しています。

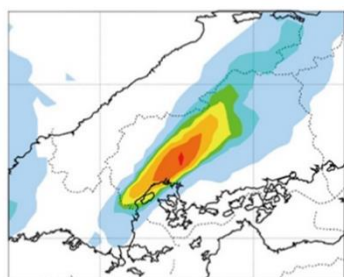
### 【線状降水帯とは】

次々と発生した積乱雲により、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすもので、線状降水帯が発生すると、災害の危険性が高くなります。

（過去の災害事例）

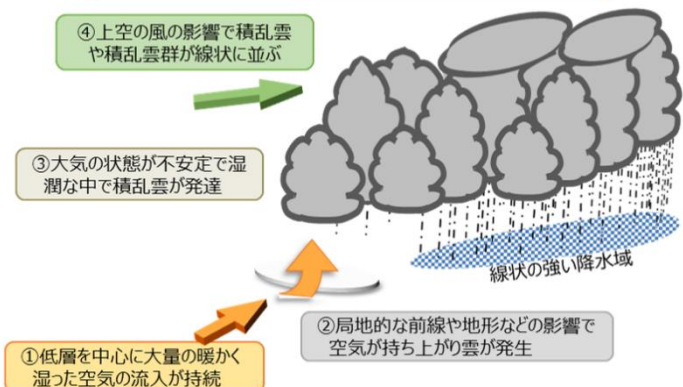
平成 26 年 8 月豪雨	平成 27 年 9 月関東・東北豪雨	平成 29 年 7 月九州北部豪雨
平成 30 年 7 月豪雨	令和 2 年 7 月豪雨	

線状降水帯の例（平成26年8月の広島県の大雨）



気象庁の解析雨量から作成した、平成26年8月20日4時の前3時間積算降水量の分布

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



参考：「線状降水帯とは」「線状降水帯の例」「線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図」（気象庁ホームページより）

顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害の危険性が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報で、警戒レベル相当情報を補足する情報です。

警戒レベル4相当以上の状況で発表します。



### 【線状降水帯の予測情報が提供されたら・・・】

**大雨による災害発生の危険度が高まっていることを認識し、心構えを一段高めましょう！！**

- ご自身や家族の安全確保が第一です。
- 普段から避難に備えて、食料や着替えなどを準備しておきましょう。
- ハザードマップや避難情報、避難経路を確認しておきましょう。
- 最新の気象情報に常に注意を払いましょう。

## 参考情報

- 兵庫県警察ホームページには、他にも様々な防災情報を掲載しています。



- 兵庫県CGハザードマップを活用して、身の回りの場所にどんな危険が潜んでいるのか確認しましょう。

【兵庫県CGハザードマップ】  
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

ハザードマップのほかにも、天気や川の様子、鉄道の運行状況などがわかる「リアルタイム情報」や、兵庫県の自然災害記録集「防災学習アーカイブス」があります。

《災害対策課》